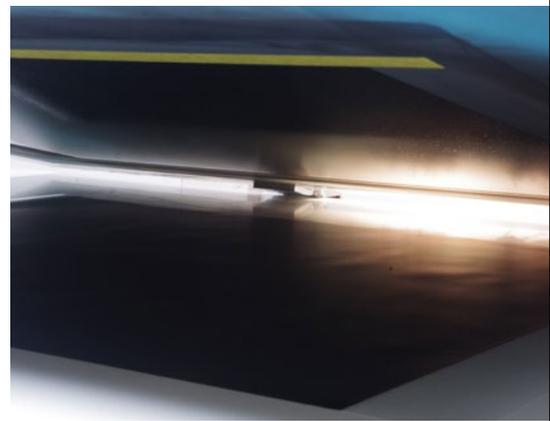
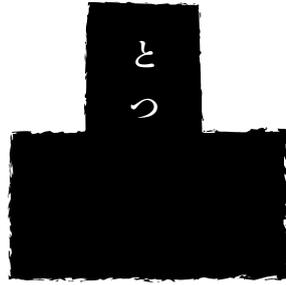




Musée
Hamaguchi
Yozo:
Yamasa
Collection



ミュージゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 2019 冬の企画展



に 降る

10.5 sat → 12.22 sun

休館日 月曜日(ただし10/14、11/4は開館)、10/15(火)、11/5(火)
 ※10/19(土)は16:00まで。トーク開催のため展示会場が見えにくくなります。ご了承ください。
 入館料 大人600円 大学・高校生400円 中学生以下無料
 開館時間 11:00~17:00(土日祝は10:00~)、いずれも最終入館16:30
 《ナイトミュージアム》 会期中の第1・3金曜日(10/18、11/1、11/15、12/6、12/20)は
 20:00まで開館、最終入館19:30

小野耕石、滝澤徹也、中谷ミチコ、浜口陽三



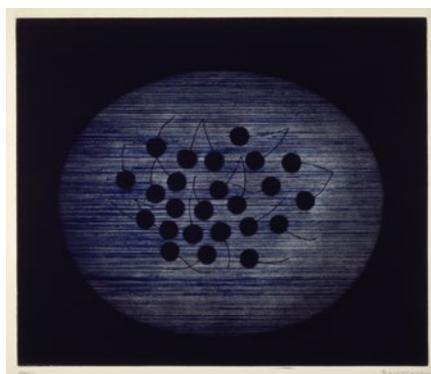
中谷ミチコ 《夜を固める! Harden the Night I》 2019年
撮影: Matsubara Yutaka



小野耕石 《この本が知的要素のみで成り立った今
それは美と芸の学術として成立した純粋に絵を描く事を失ったものである。》
2004年 スクリーンプリント 油性インク、顔料 24×18×9cm



滝澤徹也 《蜘蛛の巣》 2003年 リトグラフ
和紙、油性インク(和紙を作る過程で出たアクから作ったインク)、他
約120×90cm



浜口陽三 《黒いさくらんぼ》 1956年
カラーメゾチント(二色刷り) 29.3×34.3cm

小野 耕石 Koseki ONO

1979年岡山県倉敷市生まれ。2004年東京造形大学絵画専攻版画表現コース卒業。2006年東京藝術大学修士課程油画専攻版画科修了。2018年「モネそれからの100年」名古屋美術館(愛知)、横浜美術館(神奈川県)。2019年「The ENGINE 遊動される脳ミノ 小野耕石×門田光雅」セゾン現代美術館(長野)他、多数。

滝澤 徹也 Tetsuya TAKIZAWA

1977年千葉県生まれ。2004年東京造形大学絵画専攻版画表現コース卒業。2009年小川和紙技術継承者育成事業修了。主な展示に2011年「International Paperart Exhibition」(台湾)、2013年個展「GANGA・PAPER」(インド)、2016年「出ヶ原紙、滝澤徹也展」(リトニア)、2017年森を漕ぐ・森の箱舟アートプロジェクト(西会津)、2019年個展「発酵絵画」I.L.A.GALLELY(秋田)などがある。

中谷 ミチコ Michiko NAKATANI

1981年東京都生まれ。2005年多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業。2010年ドレスデン美術大学卒業。2012-2014年ドレスデン造形芸術大学マイスターシュラーストゥディウム修了。2018年「DOMANI・明日展」国立新美術館、「越後妻有アートトリエンナーレ 大地の芸術祭」(新潟)、2019年個展「その小さな宇宙に立つ人 In Their Own Little Cosmos」三重県立美術館。

浜口 陽三 Yozo HAMAGUCHI

1909年和歌山県生まれ。1930年東京美術学校彫塑科を退学し渡仏。油彩、水彩などを制作。1950年頃から銅版画に本格的に取り組み、1953年末よりパリを拠点に制作。1955年頃、カラーメゾチント技法を開拓。以後、東京国際版画ビエンナーレ、サンパウロビエンナーレ等、数々の大賞を受賞し国際的に活躍。冬季サラエボオリンピックのポスターにも採用される。2000年逝去。

「いちばんたいせつなことは、目に見えない」とは小説『星の王子様』の一節です。本展では、はっきり形をとらない大切なものを、てのひらにさぐり、凹凸のあわいを模索する三人の現代作家を紹介します。

スクリーンプリントを刷り重ね、観念的な立体版画を作り上げる小野耕石、蜘蛛の巣や北欧の岩石を刷りとり、時や歴史を象る滝澤徹也、石膏を型に、樹脂を流し込み、心の結晶を幻影として見せる中谷ミチコ。

かつて東京美術学校の彫塑科を中退してフランスに渡った浜口陽三は、銅の表面を限りなく細かく刻むメゾチントという技法に辿りつきました。

浜口の柔らかな銅版画と共に、とらえられないものを求めて、その触感を実在化するように表現へ深くもぐりこむ、現代の静かな心の象形をご鑑賞ください。

Gallery Talk

出品作家によるトーク

小野耕石、滝澤徹也、中谷ミチコ × 谷川渥氏(美学者)

日時 10/19(土) 17:00~18:00 トーク
18:00~ 作家を囲んでレセプション
参加費 入館料のみ。ご自由に参加できます。
申込み 10/5(土) 11:00より電話受付(開館時間中)

表面作品キャプション

左上:浜口陽三 《さくらんぼとアスパラガス》 1973年
カラーメゾチント、紙 24.1×24.4cm

右上:小野耕石 新作《絵を描く事を失ったな 表現が固定観念からの通過を語るかぎり 版と支持体からの自立を経て 重力からの恩恵と制限から解放されることはない》 現在インク蓄積中

中:滝澤徹也 制作風景 ガンジス川に紙を溶かす・ガンジス川で紙をつくる 2013年
下:中谷ミチコ 《川の向こう 舟を呼ぶ声》より 2018年
撮影: Hayato Wakabayashi

ミュージゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7
Tel_03-3665-0251 Fax_03-3665-0257
Mail_musee@yamasa.com HP_https://www.yamasa.com/musee/
アクセス_東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば
東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分
首都高速箱崎IC[浜町出口]または[清洲橋出口]T-CAT駐車場前

